

材料化学専攻

I. 志望区分

志望区分	講座・分野	
	(材料化学専攻)	
1 0 1	機能材料設計学講座	
1 0 2	無機材料化学講座	無機構造化学分野
1 0 3	無機材料化学講座	応用固体化学分野
1 0 4	有機材料化学講座	有機反応化学分野
1 0 5	有機材料化学講座	天然物有機化学分野
1 0 6	有機材料化学講座	材料解析化学分野
1 0 7	高分子材料化学講座	高分子機能物性分野
1 0 8	高分子材料化学講座	生体材料化学分野
1 0 9	ナノマテリアル講座	ナノマテリアル分野

II. 募集人員

材料化学専攻 若干名

III. 出願資格

募集要項 Part A「II - i 出願資格」参照

IV. 学力検査日程

(1) 試験日時・試験科目

2月12日(水)	10:00～11:00 英語	12:30～15:30 専門科目 I	16:00～18:00 専門科目 II
2月13日(木)	9:00～ 口頭試問		

専門科目 I: 物理化学および有機化学

専門科目 II: 無機化学、分析化学、高分子化学、3科目より2科目選択

(2) 試験場

試験は桂キャンパス A クラスターで行う。詳細は、受験票郵送時に指示する。

V. 入学試験詳細

試験室には必ず受験票を携帯し、係員の指示に従うこと。

(1) 筆記試験 (試験開始 15 分前までに入室すること)

(a) それぞれの専門科目受験に際して、自分の電卓使用は許可しない。

(b) 英語科目においては、辞書の持ち込みを認めない。

(c) 携帯電話、スマートウォッチ等の電子機器類は、なるべく試験室に持ち込まないこと。持ち込む場合には、電源を切り、かばんにしまって所定の場所に置くこと。身につけている場合、不正行為と見なされることがあるので注意すること。

(d) 筆記具は鉛筆、万年筆、ボールペン、シャープペンシル、鉛筆削り、消しゴムに限る。

(2) 口頭試問 (午前 8 時 45 分までに控室に入ること)

筆記試験と口頭試問の各結果を合せて可否決定を行う。

VI. 出願要領

志望区分の申請

インターネット出願システムの志望情報入力画面で志望順位 1 位から志望順位 7 位までの区分を選択すること。「I. 志望区分」を参照して申請すること。なお、「IX. その他 (5) 研究内容説明」に記載の専攻ホームページは、さらに各講座・分野（研究室）のホームページにリンクされており、これから研究内容の詳細を参照できる。

なお、指導予定教員と十分面談を重ね、指導予定教員の署名が入った指導予定教員承諾書を事前に A クラスター教務掛に提出すること。

VII. 入学後の教育プログラムの選択

修士課程入学後には 4 種類の教育プログラムが準備されている。履修できる教育プログラムは下記の通りである。

(1) 修士課程教育プログラム

(2) 博士課程前後期連携教育プログラム 高度工学コース（材料化学専攻）

(3) 博士課程前後期連携教育プログラム 融合工学コース（物質機能・変換科学分野）

(4) 博士課程前後期連携教育プログラム 融合工学コース（総合医療工学分野）

いずれのプログラムを履修するかは、受験者の志望と入試成績に応じて決定する。合格決定後の適切な時期に志望を調査するので、合格決定後の指示に従うこと。

詳細については、「I. 志望区分」を参照のこと。また、教育プログラムの内容については、工学研究科 HP (<https://www.t.kyoto-u.ac.jp/ja/education/graduate/dosj69>) 及び、次項の「VIII. 教育プログラムの内容について」をそれぞれ参照すること。

VIII. 教育プログラムの内容について

【修士課程教育プログラム】

材料化学専攻

科学技術にもとづく社会の高度発展にともない、新物質や新材料開発に対する要請がますます強くなっています。これは、先端科学が現在の生活及び産業基盤を支えていること、またその将来果すべき役割にますます期待が膨らんでいることにほかなりません。化学は、新物質を作る技術に加えて、物質を構成する分子の生い立ちや性質を調べ、物質特有の機能を探索する学問に変貌しつつあります。

材料化学専攻では無機材料、有機材料、高分子材料を中心に、構造と性質を分子レベルで解明しながら、新機能をもつ材料を設計するとともに、その合成方法を確立することを目的として研究・教育をおこなっています。修士課程では、広く材料化学全般にわたる基礎的な知識を習得し、無機材料化学、有機材料化学、あるいは高分子材料化学の分野で先端的な研究を進めることによって、化学工業をはじめとする産業界で研究開発に携る人材を育成すると同時に、博士後期課程に進学してさらに研究を深める人材を養成します。

【高度工学コース】

材料化学専攻

科学技術にもとづく社会の高度発展にともない、新物質や新材料開発に対する要請がますます強くなっています。これは、先端科学が現在の生活及び産業基盤を支えていること、またその将来果すべき役割にますます期待が膨らんでいることにほかなりません。化学は、新物質を作る技術に加えて、物質を構成する分子の生い立ちや性質を調べ、物質特有の機能を探索する学問に変貌しつつあります。

材料化学専攻では無機材料、有機材料、高分子材料を中心に、構造と性質を分子レベルで解明しながら、新機能をもつ材料を設計するとともに、その合成方法を確立することを目的として研究・教育をおこなっています。博士後期課程では、独創的な発想と明敏な洞察力により積極的に材料化学の新領域を切り拓く能力をもった化学者・化学技術者を育成します。

【融合工学コース】

工学研究科 HP (<https://www.t.kyoto-u.ac.jp/ja/education/graduate/dosj69>)を参照すること。

IX. その他

- (1) 受験票は募集要項にある通り、受験票送付用封筒に記入された住所へ2月上旬に郵送される。
- (2) 試験当日受験票を忘れた受験生は速やかにAクラスター事務区教務掛へその旨を申し出ること。
- (3) 英語の成績証明書・学力評価について
 - ・筆記試験及びTOEFL、TOEIC、またはIELTSの成績により評価する。
 - ・TOEFLの受験者成績証明書(「Test Taker Score Report」)のETSから紙媒体で送付された原本、IELTSの成績証明書(Test Report Form)原本またはTOEICの公式認定証(Official Score Certificate)(以下、成績証明書と略す)の成績により英語の学力を評価する。ただし、学力考査日(2月12日)から過去2年以内に受験した成績証明書を提出すること。
 - ・TOEFLの場合はTOEFL-iBT(internet-Based Test)、TOEFL iBT Home Editionを受け付ける。TOEFLのMy Best Scoreは受け付けない。
 - ・TOEICの場合はTOEIC Listening & Reading公開テストのみ受け付ける。TOEFL-ITPやTOEIC-IPなどの団体試験の成績証明書は無効となるので注意されたい。なお、公式認定証(Official Score Certificate)の原本、もしくはTOEICのデジタル公式認定証(Digital Official Score Certificate)を印刷したものを提出すること。
 - ・成績証明書は、英語試験の直前に試験室で提出する。提出がない場合及び忘れた場合は、英語の該当部分の得点は0点になる。
 - ・成績証明書は、後日1年の年限で、希望する者には返却する。
 - ・TOEFL、TOEICまたはIELTS試験の受験から、その成績表が手元に届くまでに1ヶ月近くを要するので、試験日まで十分に余裕をもって受験しておくこと。

各試験の詳細についての問い合わせ先は、それぞれ下記の通り。

TOEFL: ETS Japan 合同会社・TOEFL®テスト日本事務局

TEL: 03-6204-9830、<https://www.toefl-ibt.jp/>

TOEIC: (一財) 国際ビジネスコミュニケーション協会

TEL: 03-5521-6033、<http://www.iibc-global.org/toeic.html>

IELTS: (公財) 日本英語検定協会

IELTS東京テストセンター TEL: 03-3266-6852

IELTS大阪テストセンター TEL: 06-6455-6286 <http://www.eiken.or.jp/ielts/>

(4) 問合せ先・連絡先

〒615-8510 京都市西京区京都大学桂

京都大学大学院工学研究科Aクラスター事務区教務掛(材料化学専攻)

電話: 075-383-2077

E-mail: 090kakyomu@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

参照: <http://www.mc.t.kyoto-u.ac.jp/ja>

(5) 研究内容説明

区分	講座・分野／研究内容 【材料化学専攻】 http://www.mc.t.kyoto-u.ac.jp/ja	対応する教育プログラム		
		連携教育プログラム		修士課程教育プログラム
		融合工学コース	高度工学コース	
101	機能材料設計学講座 (機能材料設計・無機合成化学・物性化学) 1. 新規機能性酸化物の合成・構造解析・物性評価 2. 層状化合物の構造－物性相関の理解と機能探索 3. 酸化物薄膜成長とデバイス応用 4. 強誘電体・圧電体材料の開発	物質機能・変換科学分野 総合医療工学分野	材料化学専攻の定める教育プログラムに従う	材料化学専攻の定める教育プログラムに従う
102	無機材料化学講座 無機構造化学分野 (無機構造化学・レーザー科学・アモルファス工学・機能性ナノ材料) 1. 超短パルスレーザーと物質との相互作用 2. 無機ガラスの非平衡熱物性 3. ナノ材料合成と機能化 4. 半導体単結晶の低温変形			
103	無機材料化学講座 応用固体化学分野 (応用固体化学・無機固体物性・機能性無機材料) 1. 酸化物の磁性・磁気光学・スピントロニクス 2. 新しいマルチフェロイックスの開拓 3. ナノ構造を持つ金属・非金属のプラズモニクス 4. ナノ構造を持つ半導体・誘電体による光機能の創出			
104	有機材料化学講座 有機反応化学分野 本区分は、今年度の募集は行わない。			
105	有機材料化学講座 天然物有機化学分野 (天然物有機化学・有機合成・有機金属・触媒反応・電子共有有機材料・有機元素化学) 1. ヘテロ元素の特性を活用する機能材料合成 2. 新しい有機金属化合物の合成と機能探索 3. 生物活性有機化合物の合成 4. 遷移金属錯体を用いる触媒反応			
106	有機材料化学講座 材料解析化学分野 (ナノセンシングデバイス・ナノ構造体の電子移動特性・溶液内及び界面電子移動反応・分光電気化学分析) 1. ナノセンシングデバイスの構築と機能評価 2. 導電性ナノ構造体の電子移動特性の解析 3. 溶液内電子移動反応と電極電子移動反応の相関解明 4. 有機電極反応で生成する活性種の電気化学及び分光分析			
107	高分子材料化学講座 高分子機能物性分野 (高分子レオロジー・多相系高分子材料・生体材料物性・生体組織工学) 1. 高分子材料の分子構造とレオロジー的性質 2. 高分子ゲルの物理化学 3. 高分子不均質系の相構造と物理的性質 4. 生体関連物質及び生体組織の力学特性			
108	高分子材料化学講座 生体材料化学分野 (高分子材料化学・生物高分子材料・生体機能材料・バイオマテリアル) 1. 人ロタンパク質・ペプチドの合成を目指した重合反応の開拓 2. ペプチド集合体からなるナノマテリアルの創出 3. 天然高分子に倣った人工タンパク質材料の開発 4. 糖化ペプチドによる生体材料の創出			
109	ナノマテリアル講座 ナノマテリアル分野 本区分は、今年度の募集は行わない。			

※The Japanese language version of the information provides here is to be given precedence.

Department of Material Chemistry

I. Preferred Research Area

Preferred Research Area	Chair/Laboratory
	(Department of Material Chemistry)
101	Functional Materials Design
102	Inorganic Material Chemistry: Inorganic Structural Chemistry
103	Inorganic Material Chemistry: Industrial Solid-State Chemistry
104	Organic Material Chemistry: Organic Reaction Chemistry
105	Organic Material Chemistry: Organic Chemistry of Natural Products
106	Organic Material Chemistry: Analytical Chemistry of Materials
107	Polymer Material Chemistry: Polymer Physics and Function
108	Polymer Material Chemistry: Biomaterial Chemistry
109	Nanomaterials: Nanomaterials

II. Enrollment Capacity

Department of Material Chemistry: A few people

III. Eligibility requirements for applicants

Refer to Part A “II-i. Eligibility” of the Guidelines for Applicants.

IV. Examination Schedule

(1) Date and time, and subjects for examination

February 12 th (Wed)	10:00 – 11:00 English	12:30 – 15:30 Specialized subject I	16:00 – 18:00 Specialized subject II
February 13 th (Thu)	From 9:00 Oral Exam		

Specialized subject I: Physical Chemistry and Organic Chemistry

Specialized subject II: Two subjects to be selected from the three subjects of Inorganic Chemistry, Analytical Chemistry, and Polymer Chemistry

(2) Examination venue

The examination will be conducted in the A Cluster in Katsura Campus. For the details, instructions are given in the examination vouchers to be sent at a later date.

V. Details of Entrance Examinations

Applicants must carry their examination vouchers in the examination room and follow the instructions given by the attendant.

(1) Written examination

(Applicants must enter the examination room no later than 15 minutes before the examination starts.)

- Applicants are not permitted to use their own calculators in taking the examinations in the Specialized subjects.
- It is not allowed to carry in dictionaries for the English examination.
- As far as possible, applicants should not to bring electronic devices, including mobile phones and smartwatches, into the examination room. If an applicant must take an electronic devices into the room, the power must be turned off, it must be placed in the applicant's bag and placed in a designated area. If applicants carry such a device with them, it may be regarded as cheating.
- Writing tools allowed to be used in the examination are only pencils, fountain pens, ball-point pens, mechanical pencils, pencil sharpeners, and erasers.

- (2) Oral examination (Applicants must enter the anteroom no later than 8:45 a.m.)

It is decided based on the results from the written and oral examinations whether an applicant passed or failed.

VI. Instructions on Application for Admission

Application of preferred research areas:

Applicants must select the research areas of their 1st to 7th choice on the information entry screen of the Internet Application System. Applicants must refer to “I. Preferred Research Area” for the application. On the department’s website indicated in “(5) Research Descriptions” in “IX. Other” have further links to the websites of the chairs and laboratories so that applicants can refer to the details of researches. In addition, applicants must have sufficient communication with a prospective supervisor and submit “Consent Form of Prospective Supervisor” with the signature of the prospective supervisor in advance to Graduate Student Section in A Cluster Office.

VII. Selecting Your Course after Enrollment

Four course programs are provided for successful applicants after the enrollment in the Master’s program. For those who passed the Department’s examination, the following course programs are available.

- (1) Master’s Course Program
- (2) Advanced Engineering Course of Integrated Master’s-Doctoral Course Program
(Department of Material Chemistry)
- (3) Interdisciplinary Engineering Course of Integrated Master’s-Doctoral Course Program
(Materials Engineering and Chemistry)
- (4) Interdisciplinary Engineering Course of Integrated Master’s-Doctoral Course Program
(Integrated Medical Engineering)

Successful applicants’ course assignment is determined based on their preference and entrance examination results. Applicants’ preferred courses will be surveyed in an appropriate timing after judgement of passing the examination. Follow the instructions after the judgement.

For the details, refer to “I. Preferred Research Area.” For the details of the course programs, refer to Graduate School of Engineering HP (<https://www.t.kyoto-u.ac.jp/ja/education/graduate/dosj69>) and “VIII. Course Details” in the next section.

VIII. Course Details

[Master’s Program]

Department of Material Chemistry

With the rapid development of society, there is greater demand for the development of new substances and materials and the creation of novel functions. The advance of material science and technology supports our daily lives and industrial base today, and so the expectations for the roles that chemistry will play in the future are increasingly growing. Nowadays, chemistry is not merely a tool for creating new substances and materials, but it is rapidly developing into an academic discipline that studies the characteristics of atoms and molecules composing substances/materials and that investigates the properties or functions specific to the substances/materials.

The Department of Material Chemistry covers all the basic chemistry fields concerning physical chemistry, organic chemistry, inorganic chemistry, analytical chemistry, polymer chemistry, and bio-related chemistry, and provides education and research opportunities ranging from the fundamentals of chemistry to the latest applied research. In our master’s program, we foster chemists and chemical engineers who will be engaged in development in industrial business, including chemical industry, as well as cultivate human resources who will enter the doctoral program to deepen their researches on the basis of basic knowledge in material chemistry and to perform the advanced research.

[Advanced Engineering Course]

Department of Material Chemistry

With the rapid development of society, there is greater demand for the development of new substances and materials and the creation of novel functions. The advance of material science and technology supports our daily lives and industrial base today, and so the expectations for the roles that chemistry will play in the future are increasingly growing. Nowadays, chemistry is not merely a tool for creating new substances and materials, but it is rapidly

developing into an academic discipline that studies the characteristics of atoms and molecules composing substances/materials and that investigates the properties or functions specific to the substances/materials.

The Department of Material Chemistry covers all the basic chemistry fields concerning physical chemistry, organic chemistry, inorganic chemistry, analytical chemistry, polymer chemistry, and bio-related chemistry, and provides education and research opportunities ranging from the fundamentals of chemistry to the latest applied research. The Doctoral program contributes to training chemists and chemical engineers who have the ability to positively open up new fields of material chemistry with their creative ideas and intelligent insights.

[Interdisciplinary Engineering Course]

Refer to Graduate School of Engineering HP (<https://www.t.kyoto-u.ac.jp/ja/education/graduate/dosj69>) .

IX. Other

- (1) Examination vouchers will be mailed to the applicant in early-February to the addresses written on the return envelope for examination voucher as mentioned in the Guidelines for Applicants.
- (2) Any applicant who forgets to bring the examination voucher on the examination day must promptly report it to the A Cluster Office, Graduate Student Section.
- (3) About English transcripts and assessment:
 - Evaluate based on the written exam and TOEFL, TOEIC, or IELTS grades.
 - Evaluate based on the original “Test Taker Score Report,” of TOEFL, “Official Score Certificate” of TOEIC, or “Test Report Form” of IELTS. Applicants shall submit the score report of the test that they took within two years before the examination date (February 12th).
 - In the case of TOEFL, TOEFL-iBT (internet-Based Test) and TOEFL iBT Home Edition are accepted. TOEFL My Best Score is not acceptable.
 - In the case of TOEIC, only TOEIC Listening & Reading public test is accepted. Please note that transcripts for the institutional tests such as TOEFL-ITP and TOEIC-IP are not accepted. Applicants shall submit the “Official Score Certificate”
(not a photocopy but the original certificate) or “Digital Official Score Certificate”
(a printed one).
 - Transcripts are to be submitted at the examination room before starting the English examination. If an applicant has failed to or forgotten to submit the score report, his/her score will be evaluated as 0 points in the applicable English examination.
 - Transcripts will be returned to those who wish to return it within one year.
 - Since it takes nearly one month from taking the TOEFL, TOEIC or IELTS test to reach the score sheet to you, you should take it to be in time for the score submission deadline.

The contact details for each test are as follows.

TOEFL: ETS Japan LLC.

TEL: 03-6204-9830, <https://www.toefl-ibt.jp/>

TOEIC: The Institute for International Business Communication

TEL: 03-5521-6033, <http://www.iibc-global.org/toEIC.html>

IELTS: (Public Interest Incorporated Foundations) Eiken Foundation of Japan

IELTS Tokyo Test Center TEL: 03-3266-6852

IELTS Osaka Test Center TEL: 06-6455-6286

<http://www.eiken.or.jp/ielts/>

- (4) Contact for general inquiries:

Kyoto University Katsura, Nishikyo-ku, Kyoto 615-8510

A Cluster Office, Graduate Student Section (Department of Material Chemistry),

Graduate School of Engineering, Kyoto University

Phone: +81 75-383-2077

E-mail: 090kakyomu@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

Reference: <http://www.mc.t.kyoto-u.ac.jp/ja>

(5) Research Descriptions

Area number	Chair and Laboratory/Details of Research [Department of Material Chemistry] http://www.mc.t.kyoto-u.ac.jp/ja	Applicable Courses		
		Integrated Program		Master's Course Program
		Interdisciplinary Engineering Course	Advanced Engineering Course	
101	<u>Functional Materials Design</u> (Design of functional materials, inorganic synthetic chemistry, and solid-state chemistry) 1. Synthesis, structure analysis, and physical properties of new functional oxides 2. Understanding of structure-property relationships in layered compounds 3. Epitaxial growth and physical properties of complex oxide thin films 4. Development of ferroelectric and piezoelectric materials	Materials Engineering and Chemistry Integrated Medical Engineering	According to the course program established by the Department of Material Chemistry	According to the course program established by the Department of Material Chemistry
102	<u>Inorganic Material Chemistry: Inorganic Structural Chemistry</u> (Inorganic structural chemistry, laser science, amorphous engineering, and functional nanomaterials) 1. Interaction between ultrashort pulse laser and materials 2. Nonequilibrium thermophysical properties of inorganic glasses 3. Synthesis and functionalization of nanomaterials 4. Low-temperature deformation of single-crystal semiconductors			
103	<u>Inorganic Material Chemistry: Industrial Solid-State Chemistry</u> (Industrial solid-state chemistry, physical properties of inorganic solids, and functional inorganic materials) 1. Magnetism, magneto-optics, and spintronics of oxides 2. Development of new multiferroics 3. Plasmonics of metals and nonmetals with nanostructures 4. Photo-functions based on semiconductors and dielectrics with nanostructures			
104	<u>Organic Material Chemistry: Organic Reaction Chemistry</u> This area will not accept any students in this season.			
105	<u>Organic Material Chemistry: Organic Chemistry of Natural Products</u> (Organic chemistry of natural products, organic synthesis, organic metals, catalytic reaction, electron conjugated organic materials, and organic elemental chemistry) 1. Synthesis of functional materials utilizing the characteristics of hetero elements 2. Synthesis of new organometallic compounds and investigation of their functions 3. Synthesis of bioactive organic compounds 4. Catalytic reaction using transition metal complex			
106	<u>Organic Material Chemistry: Analytical Chemistry of Materials</u> (Nanosensing devices, electron transfer properties of nanostructures, electron transfer in solution and interfacial electron transfer, and spectroelectrochemical analysis) 1. Construction of nanosensing devices and evaluation of their functions 2. Analysis of electron transfer properties of conductive nanostructures 3. Investigation of correlation between electron transfer reaction in solution and electrode electron transfer reaction 4. Electrochemistry and spectrometric analysis of active species generated by organic electrode reaction			
107	<u>Polymer Material Chemistry: Polymer Physics and Function</u> (Polymer rheology, multi-phase polymer materials, physical properties of biomaterials, and tissue engineering) 1. Molecular structures and rheological characteristics of polymer materials 2. Physics of polymer gels 3. Phase structures and physical properties of heterogeneous polymer systems 4. Mechanical characteristics of biologically-relevant substances and living tissues			
108	<u>Polymer Material Chemistry: Biomaterial Chemistry</u> (Polymer chemistry, Biopolymer material, Biofunctional materials, Biomaterials) 1. Polymerization for artificial peptide and protein syntheses 2. Peptide-based nano-materials including gene/protein carriers 3. Bioinspired artificial protein and peptide materials 4. Glycopeptide materials			
109	<u>Nanomaterials: Nanomaterials</u> This area will not accept any students in this season.			